

2023 年度公開学習会 II

北海道中会 ヤスクニ・社会問題委員会

「近代家族の象徴としての 聖家族と天皇家族 ——家族・キリスト教・天皇制」

性的少数者を断罪してきた聖書テキストを精緻な釈義をもって本来のメッセージにいざなってくださった昨年の公開学習会 II の講師小林昭博先生によるあらたな学びのつどいです。多くのかたのご参加をお待ちしています。

現代の社会通念から自由にされた聖書の読みを体験してみませんか。

日時

2024 年 2 月 23 日 (金・休)

午後 1 時～3 時

場所 札幌琴似教会 札幌市西区八軒 2 条西 1 丁目 1-31 JR 琴似駅 5 分

ZOOM でのオンライン配信もいたします ZOOM

の発信教会は札幌琴似教会とします。ZOOM 参加〈無料〉に関するお問い合わせは、札幌琴似教会(011-641-3088) 担当者までお願いします。

zoom への参加方法は、

1. zoom にアクセスする。 <https://explore.zoom.us/ja/>
2. 「ミーティングに参加する」を選択
3. ミーティング ID 「884 0087 6891」を入力する。
4. パスコード 「759482」を入力する。

主催

日本キリスト教会北海道中会

ヤスクニ・社会問題委員会

担当 日本キリスト教会夕張伝道所 渡辺

電話 090-2696-8877

E-mail: t-watanabe@yubari-ch.com

講師

こばやし あきひろ
小林 昭博



プロフィール

■酪農学園大学教授（キリスト教応用倫理学研究室）・宗教主任。神学博士。

■日本基督教団北海教区平和部門委員会委員（靖国・天皇制問題担当）。関東神学ゼミナール『fad』編集委員。日本基督教学会理事。

■専攻は新約聖書学であり、特にクイア理論による新約聖書の読解、ポストコロナル批評による新約聖書と帝国主義の関係、近代家族批判を踏まえた新約聖書の家族観などの問題を研究課題としている。

■著書としては、『同性愛と新約聖書——古代地中海世界における性文化と性の権力構造』（風塵社、2021 年）、『クイアな新約聖書——クイア理論とホモソーシャル理論による新約聖書の読解』（風塵社、2023 年）などがある。

■近年の論文としては、「帝国主義と福音」(1)～(5)（『酪農学園大学紀要』41 巻 2 号～43 巻 2 号、2017 年 3 月～2019 年 3 月）、「イエスと家族——カナの婚宴におけるイエスと母」（『酪農学園大学紀要』48 巻 1 号、2023 年 10 月、7-17 頁）、「イエスとイエスの母とイエスが愛した弟子——ヨハネ 19：25-27 における新しい家族像」（『酪農学園大学紀要』48 巻 2 号、2024 年 3 月発行予定）など